

口之津港改修工事の安全祈願祭



5月12日、口之津港改修工事の安全祈願祭が口之津港緑地公園で行われました。

この工事は、県の新規事業として平成26年度に採択されたもので、今後、埋め立て地の拡張や浮桟橋などが設置されます。

市は、今年度からターミナルビルと駐車場の設計を行い、県と一体となって、平成31年度の供用開始に向けて、整備していきます。

新たに地域おこし協力隊着任



南島原市地域おこし協力隊
廃校活用プランナー 小川 真 希さん

いつまでもお元気で ～100歳おめでとうございます～



松田 チヨノさん(口之津町)
大正4年6月8日生まれ



加津佐B&G海洋センタープールがリニューアル

平成26年度に公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーン財団より助成をいただいて、プール上屋鉄骨の改修とテントの張替えなどを含む工事を行いました。

6月12日、リニューアルに伴い、加津佐小学校5・6年生の児童が泳ぎはじめを行いました。

今回のリニューアルにより、水と親しむ拠点施設として今後ますます市民の皆さんの健康づくりを促進できる施設を目指します。



禅と弦 お寺でクラシック

5月22日、玉峰寺(口之津町)でコンサート「禅と弦」が行われました。これは住職の知見さんと妻の美穂さんの「禅と弦の響きが似ている」という思いつきから始めたもので、今年で10回目となります。

テーマは「空華」。今年はプロの写真家の写真をスクリーンに投影しながら、クラシックの名曲などが披露され、会場は諸行無常の幻想的な雰囲気になりました。



ありえ浜んこら祭実行委員会に助成



和道深江太鼓に助成

十八銀行が市内2団体に助成

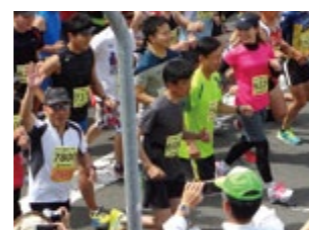
(株)十八銀行は、公益財団法人十八銀行社会開発振興基金を設けており、健全な社会・文化・教育などの推進への協力として、3月末現在で、述べ1,068件、5億5千万円余りの助成を行っています。

5月、(株)十八銀行は地域活性化に取り組んでいる和道深江太鼓とありえ浜んこら祭り実行委員会に対し、助成を行いました。

ありがとうございました。



姉妹都市小豆島を駆け抜ける



5月24日、香川県小豆島町で開催された小豆島オーリーブマラソン全国大会に本市から姉妹都市交流事業の一環として、選手6人が参加しました。

38回目となる今大会には全国から約5,000人が参加、本市選手団は3人がハーフ、1人が10km、2人が5kmの部に出場しました。当日は心配されていた天候にも恵まれ、真夏のような日差しの中、本市の選手全員が完走し、ゴール時にはすがすがしい笑顔を見せていました。

大会後には「二十四の瞳」の舞台となった映画村や、オーリーブ公園、壺井家の矢文など小豆島町を視察し、本市と小豆島町の歴史的な繋がりを深く感じるものとなりました。

Focus in 南島原 まちの話題



雲仙岳大火砕流から24年 ～いのりの日～

43人が犠牲となった普賢岳火砕流から24年、6月3日「いのりの灯」が雲仙岳災害記念館で行われました。

「いのりの灯」は、1991年6月3日に発生した火砕流惨事によって犠牲となった人たちの鎮魂と、噴火災害を知らない子どもたちへの伝承を目的として毎年、実施されています。

会場には島原半島内の幼稚園・保育園・小中学生がそれぞれの思いを表現し作成したキャンドルが並び「いのり」の気持ちに包まれていました。



世界で数カ所しかない“白洲”現れる



5月17日、北有馬・南有馬地区の子ども会が2地区合同で、白洲探検をしました。

白洲は学名「リソサムニウム」と呼ばれ、

インド洋やイギリス海岸など世界で数カ所で見ることができない大変貴重なものです。普段は海の中に沈んでおり、3月から8月のうち、数日間しかその姿を見ることができません。

子どもたちは海岸清掃を行なった後船に乗り込み、白洲へと出発し、白洲に上陸すると、大はしゃぎで白洲を駆け回っていました。

白洲探検は8月上旬まで実施されます。詳細は原城温泉真砂(☎0957(85)3155)までお問い合わせください。